

地域発 元気づくり支援金 実施事業検証一覧表

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (単位：千円)		評価にあたっての意見
				総事業費	交付額	
1	地域学生主体の文科系活動発信事業	GARDEN 4S(飯田市)	短大生、高校生、中学生等を巻き込んだ文化フェスティバルを開催し、多くの若者に地域活動に参加してもらうとともに、若者と商店街の活性化と文化発展を図る。 ①ポスター、のぼり旗、スタッフTシャツ等 ②発電機	962	686	準備段階での学生の参画に課題は残ったが、のべ120名の学生と共にイベントを作り上げることで、商店街の活性化や文化活動による交流等に寄与した。今後もより多くの学生たちが自主的に取り組めるよう、環境整備を期待したい。
2	千代地区の「地域力」を高める地域活性化事業	千代地区まちづくり委員会(飯田市)	原稿執筆や座談会等を通じて、千代地区の歩みを残すための記念誌を制作し、地域づくりについて考える機会とするとともに、地域の未来を担う子ども達の郷土愛を育む学習教材として活用する。 ①印刷製本費	1,095	821	座談会や発表会の開催により、地域住民が改めて千代地区の歴史や魅力を見つめ直す機会を創出できた。作成した記念誌を今後も継続して活用していただくことを期待したい。
3	羽場地区介護予防事業	羽場まちづくり委員会(飯田市)	地域ボランティアによる介護予防教室や高齢者による子ども学級などの地域活動、交流活動を充実・発展させるため、専門講師による効果を高めるとともに、高齢者や子ども達が参加しやすいよう活動環境等を整備する。 ①講師謝金 ②エアコン設置	1,852	1,000	整備された施設を有効活用し、多くの地域住民が参加できるよう、地域活動・交流活動の更なる充実が図られることを期待したい。
4	地域高校と連携する町民バスラッピング事業	阿南町	高校生がデザインしたラッピングバスを運行するとともに、住民に愛称募集を行うことで、町民バスを身近に感じてもらう利用促進に繋げる。 ②バスラッピング(1台)	644	482	高校生によるバスのデザインや住民等への愛称募集を通じて、地域の公共交通に対する意識醸成に取り組んだ。引き続き、ラッピングバス等を活用しての公共交通の利用促進を期待したい。
5	ふっとふっとオリジナル体操制作及びPR事業	阿南町	幼児から高齢者までの足からの健康づくり「ふっとふっと事業」を推進するため、阿南町のオリジナル体操やマスコットキャラクターを公募するとともに、CD・DVD等を作成する。各種イベント等で活用することで、これまで高齢者の参加者が中心となってきた「ふっとふっと事業」の再構築を図り、住民の意識啓発や事業の認知度向上を目指す。 ①CD・DVD制作費 ②マスコットキャラクター着ぐるみ制作費	1,510	1,041	公募して作成したオリジナル体操(ふっとふっと体操)及びマスコットキャラクターにより、ふっとふっと事業の普及啓発に努め、幼児から高齢者まで全世代に周知を図った。事業の浸透を図るためにキャラクターも作成し、公共バスのデザインに採用したり町外で活動を展開した。また、ACEフォーラムin飯田においても体操を披露する等、話題性のある積極的な取組を継続している。
6	宇宙留学サマーキャンプ2017	飯田市	宇宙をテーマとした合宿学習を小学生を対象に開催し、グローバル人材の育成や将来の当地域の航空宇宙産業の担い手となるきっかけ作りとするとともに、都市圏の児童との交流により、中山間地域におけるまちづくりの機運を高める。 ①講師謝金、旅費、施設使用料等	1,398	603	宇宙をテーマにした合宿により、航空宇宙産業や星空等の地域の特色を生かした教育が行われた。企業からの協力や県外児童の参加により、事業の発展が図られた。
7	自然資源を使って、生きがいの中に伝統文化を継承する	一般財団法人飯田市南信濃振興公社(飯田市)	遠山郷において昭和初期に途絶えていた藤糸を使った伝統文化を再生・伝承していくため、藤づるや藤糸を材料にした工芸品づくりの体験者の受入を、地元のシニア世代と協働して行う。これまでの機材・保管庫整備、HPの作成等の取組を踏まえ、3年目となる平成29年度は、団体客の受入れの呼び込みや、和田小学校との連携を行うことで、活動の継続基盤を確立するとともに遠山郷の藤織り文化の継承を図る。 ①講師謝金、資料印刷費、会場借上等	908	662	観光関係者と連携した団体ツアー等と呼び込み、日帰り体験者30名、体験民泊26名を受け入れることができた。地元のシニア世代を巻き込んだ一連の活動が実を結び、体験者の増加に留まらず県外リピーターの申込みが増加する等、滞在型観光の定着としても一定の成果があった。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (単位：千円)		評価にあたっての意見
				総事業費	交付額	
8	エコール・デテ 2017	一般社団 法人レキッ ブ飯田(飯 田市)	飯田市において、外国語で日本の文化を学べる環境をつくる ため、市民主導によるフランス人大学生を集めたサマース クールを開講し、市民の国際交流に対する意識を喚起する。 ①通訳謝金、広告宣伝費、会場使用料、バス借上料等	836	626	事業内容変更によりプログラムが大幅に縮 小となった結果を踏まえ、より広く住民を巻 き込み、国際交流の意識醸成につながるよ う計画的な事業構築を期待したい。
9	民俗芸能の後 継者確保を目 的とした広報誌 の発行事業	伊那谷民 俗団体連 絡協議会 (飯田市)	当地域の宝である民俗芸能は継承の危機にあり、各芸能の 取組を調査し、広報誌として広くPRするとともに、学習会の資 料とすることで、後継者や支援者の確保を図る。 ①印刷製本費	1,091	777	昨年度に引き続き当地域の重点課題である 「民俗芸能の継承・発展」に寄与。 冊子の配布にとどまらず、民俗芸能の存続 に向けての幅広い取組に期待したい。
10	遠山の霜月祭・ 次世代へ継承 する「音」の保 存事業	遠山郷観 光協会(飯 田市)	祭の担い手不足により、相互に助け合いながら祭りを継承す る取組が始まっているが、神社による微妙に異なる節・拍子 を従来の形で継承できるようCD化する。 併せて、来場者の利便性向上のため、看板等を設置する。 ①録音・編集、のぼり旗、案内看板	1,445	1,156	保存対象地区の数が4地区に減少する等、 内容に一部変更があったものの、当地域の 重点課題である「民俗芸能の継承・発展」に 寄与。 DVD、看板、のぼり旗を有効に活用できるよ う取り組んでいただきたい。
11	南信州阿智村 清内路煙火等 資産化事業	南信州阿 智村清内 路煙火等 資産化事 業実行委 員会(飯田 市)	「清内路村の手作り煙火」をはじめとする南信州圏域を中心と した煙火文化を記録し、学習会を開催することで、民俗文化 の保存伝承を図る。 ①調査謝金、旅費、映像制作費等	3,065	2,164	煙火等の撮影記録や歌舞伎衣装調査を通 じて、清内路の民俗文化の保存継承に寄 与。 映像記録や調査資料の活用とともに、地域 住民が主体となった活動の継続を期待し たい。
12	南信州お仕事 キッズタウン事 業	南信州青 少年育成 プロジェクト (飯田 市)	南信州地域の仕事を体験し知ってもらうために、子ども達を 対象とした「南信州お仕事キッズタウン」を開催する。 お仕事体験を通じて地域の産業を知り、多くの大人たちと触 れ合うことで、幼少期からの地域愛を育み、この地域に居続 けたいと思うきっかけとする。 ①会場借上費、資料作成費、広告費等	1,180	526	地元企業等55社と協働したお仕事体験を通 じて、多くの子どもたちが南信州地域の地 場産業を体験し、理解を深めるきっかけと なった。 参画団体の増加に留まらず、体験メニュー の組み替えの検討に着手する等、将来の地 域の担い手増加に寄与するような事業の発 展が期待できる。
13	「時の駅」発“ふ るさと高森再発 見の旅”	高森町	大河ドラマ「おんな城主直虎」により町や資料館「時の駅」へ の来訪者が増加しているため、再び訪れたい資料館作り に取り組む。 併せて、地元の歴史に目を向けてもらう機会として、講演会・ 学習会を行う。 ①講師謝金、ポスター・チラシ、文化財マップ等	1,997	1,497	講演会(参加者200名)や現地学習会(参加 者60名)は町内外の参加者が地域の歴史 を学びあう場となった。 作成した冊子等を活用し、地域の歴史文化 の理解・関心を深めていただく取組を期待 したい。
14	激動の牛牧昭 和史(冊子の作 成・発行と体験 教室の開催)	牛牧史学 会(高森 町)	現在の生活環境の礎となっている「激動の昭和」を後世に伝 え、継承させるため、「激動の牛牧昭和史」を発行するととも に、昭和時代の体験教室等を開催する。 ①冊子発行	1,013	727	体験教室や講演会は、地域住民が地域の 歴史を改めて認知する機会となった。 作成した冊子等を活用し、地域が一丸と なって歴史文化の継承を進めていくことを期 待したい。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (単位：千円)		評価にあたっての意見
				総事業費	交付額	
15	阿智村認定地域資源普及事業	阿智村	住民が主体的に価値を見出し次世代に継承したい地域資源を村が認定する「認定地域資源制度」を設けた。引き続き、新しい地域資源の掘り起こしや、イベントでの活用を図る。 ①講師謝金、パンフレット、講座開催経費等	1,642	1,229	学習会や各イベント等により認定地域資源の普及が進むとともに、冊子の作成により全村博物館構想の全体像を示すことができた。冊子の活用及び事業の普及・発展に向け、今後の取組を期待したい。
16	囲い櫓修繕を通じた下清内路花火の伝統継承プログラム	下清内路区会(阿智村)	下清内路の地域のつながりに欠かせない花火を引き続き維持するため、囲い櫓を修繕するとともに、修繕の際に伝統技術と伝統芸能の継承を目指す学習会を実施する。 ②囲い櫓修繕	2,041	1,530	囲い櫓(3基)の修繕方法の見学会や講習会を実施し、手作り花火を公開することで地域住民の巻き込みが図られた。今後も下清内路花火の伝統が若者へ継承していく活動を期待したい。
17	根羽村文化財継承保存事業	根羽村	人口減少・高齢化が進む中、文化財の知識の継承が課題となっており、月瀬の大杉や信玄塚などの文化財等の解説を映像として記録し、小学校の特別授業等で活用する。 ①映像制作	2,044	1,533	悪天候による撮影日の変更等で完成が遅れ、年度内は完成品の配布のみに留まった。来年度は村のCATVや小学校の教材等での活用を期待したい。
18	下條歌舞伎一步前へ！プロジェクト パート2	下條歌舞伎保存会(下條村)	平成28年度に引き続き、一般参加者を含めたプロの指導を受けることにより伝統芸能の継承を推進する。また、人形芝居と地歌舞伎の合同公演により後継者の確保を図る。 ①講師謝金、出演料等 ②三味線	1,496	1,188	三味線研修の講座参加者は延べ149名で、合同講演にも多くの観客が訪れた。今後、さらなる後継者確保に向け、村内の体制整備が進んでいくことを期待したい。
19	若者の力で祭りを盛り上げよう！「たかぎふるさと祭り30周年記念イベント」	たかぎふるさと祭り実行委員会(喬木村)	「たかぎふるさとまつり」において、高校生が大人たちと一緒に祭りを作り上げる機会(プロジェクションマッピング)を提供することで、喬木村で育つ若者のふるさとへの意識醸成を図る。 ①機材レンタル、講師派遣、会場使用料、ポスター印刷費等	964	696	飯田OIDE長姫高等学校の生徒や地元企業が協働し、プロジェクションマッピングを完成させた。若い世代を中心となって、ふるさとへの意識醸成を図ることができた。
20	重文指定記念・大鹿歌舞伎体感伝承活用事業	大鹿歌舞伎保存会(大鹿村)	地芝居では全国で初めて重要無形民俗文化財に指定された「大鹿歌舞伎」を、保存伝承し、その魅力をPRするため、ワークショップや講演会等を開催する。 ①公演開催経費、講師謝金、クリアファイル等 ②歌舞伎衣装、三味線	6,115	4,247	記念公演には2,000人の観客が訪れたことをはじめ、ワークショップ、PR事業は大鹿歌舞伎の保存伝承と魅力発信に寄与した。新調した衣装等で継承を図り、更なる地域文化の振興に資することを期待したい。
21	災害に向けての実践力をつけ+ネットワークも作ろう！！初級編「防災力を高めよう～伊那谷の地形と地震の特性を理解して行動するために」	NPO法人飯田ボランティア協会(飯田市)	平成28年度に引き続き、伊那谷の特性や、災害弱者支援について学習するとともに、市民のネットワークを築くことで、地域防災力の向上を図る。 ①講師謝金、広告費、地形図等	421	336	地域の地形や気象災害をテーマに取り上げることで、受講者が地域の防災を考えるきっかけとなった。支援終了後の自主的な活動の継続を期待したい。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (単位：千円)		評価にあたっての意見
				総事業費	交付額	
22	下條村災害時 住民支えあい 体制構築事業	下條村	これまで、防災・減災意識の向上を図ってきたが、平成29年度は世帯台帳等を整備し、防災訓練や地区別講習会を実施し、台帳を元に助け合いの地域を築く。 ①研修会謝金・委託料	714	571	住民に実践的で分かりやすい講座を行う等、地域の防災力向上に取り組んだ。より多くの地域住民が参画し、助け合えるような体制構築を図っていただきたい。
23	薪さえあれば 愛いなし！防 災＆木の村「売 木村」推進プロ ジェクト	売木村	防災マップの作成を契機に防災に対する意識が高まりつつあることから、災害時に活用する薪ストーブを導入するとともに、炊き出し訓練や教育現場での木育、防災訓練等に活用し、災害時に備える。 ①薪スタンド ②薪ストーブ	1,301	978	購入したストーブ(3台)を活用して、防災訓練、防災教育に継続的に取り組んだ。村全体の防災力の向上や防災意識の醸成に資する活動に期待したい。
24	住民と考える地 域交通利用促 進事業	大鹿村	既存の公共交通を住民がもっと利用できるように、住民ニーズを把握するとともに、ワークショップを開催し、利用促進を図る。 ①現状調査、委員謝金、郵送料等	2,447	1,957	アンケートやワークショップの実施により、地域交通に対する住民ニーズの実態把握に努めた。実施結果を活用し、地域の公共交通の利用促進が図られることを期待したい。
25	城山公園整備 事業	飯田商工 会議所山 本支部(飯 田市)	これまで城山公園の整備を進め、観光客や小学校の遠足の場として利用が増える中、引き続き地域住民で保全活動を行うとともに、駐車場や休憩室の整備を行う。 ①燃料代 ②休憩室改築、看板設置	4,824	3,219	休憩室改築、看板設置により公園の環境整備がさらに進展した。観光資源として多くの利用者が訪れるよう、地域住民が主体となって保全活動を継続するとともに、整備した設備を有効活用していただきたい。
26	未来へつなぐ 風越山麓わか わくプロジェクト	丸山まち づくり委員 会(飯田 市)	丸山地区において、地域住民が子ども達を巻き込みながら、地域資源である風越山の育苗管理や山林整備、植樹祭等を実施することで、郷土愛の醸成と、新たな魅力ある地域資源づくりを行うことで、地域住民の交流や活性化に結び付けていく。 ①講師謝金、苗木、パンフレット等 ②看板	770	562	地域住民による環境整備・各種イベント等を通じ、地域の郷土愛醸成と、地域資源を活用して地域の交流拡大を図った。魅力ある地域資源づくりのために、先進地を視察するといった取組が生まれる等、観光交流拡大に向けた取組も行っており、活動の更なる発展が期待できる。
27	片桐松川左岸 及びむらやま 公園周辺が桜 で潤い実践事 業	むらやま 公園八重 桜の会(松 川町)	片桐松川左岸のむらやま公園に地域住民が協力して桜並木を育成し、環境保全を推進することで、新たな景勝地として地域の活性化を図る。 ②整備費用、苗木等	1,681	1,120	片桐松川左岸において、地域住民33名が八重桜70本を植樹するなど景観整備に取り組んだ。継続的な維持管理など、景勝地の一つとして誘客促進につなげていただく活動を期待したい。
28	地域に学び、 地域とふれあ う『天白峡ほた る』再生事業	山吹天伯 峡ほたる 管理委員 会(高森 町)	小学生と協働でほたるの飼育を行っているが、エサとなるカワニナが繁殖できるよう、専用水路を新設し、生息環境整備を行う。 ②水路整備	767	511	ほたるのエサとなるカワニナが繁殖するように、専用水路を整備し、小学4年生と協働してほたる飼育を行った。ほたるを介し環境教育活動と活発な地域交流が継続することを期待したい。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (単位：千円)		評価にあたっての意見
				総事業費	交付額	
29	史跡、民話、里山環境整備と交流事業	祭り街道の里ドリーム新野(阿南町)	史跡や大銀杏にまつわる民話を案内できるように石碑を立てるとともに、冊子やチラシと併せて子ども達や町外からの来訪者への説明に活用する。 ①小冊子、チラシ ②石碑設置	1,384	922	史跡の整備や民話の小冊子は地元小学生、地区外からの来訪者等に対する地域学習に活用された。 今後も地域が主体となり郷土学習や観光誘客等のPRを継続していただきたい。
30	矢作川流域による環境整備事業	根羽村	矢作川下流域として交流のある愛知県安城市の中学生と一緒に遊歩道整備を実施し、森林整備作業を通じて体験学習を行うとともに、地元間伐材の利用促進に繋げる。 ①中学生指導料 ②遊歩道修繕	1,598	1,092	計画が変更になり、森林整備作業は少人数の小学生対象となった。 整備した遊歩道が県内外の子供たちの環境学習の場として今後も活用されることを期待したい。
31	「福(かぐらふぐ)呼ぶ」商品開発と体験事業	一般財団法人飯田市南信濃振興公社(飯田市)	道の駅遠山郷の日帰り温泉が塩の湯であることから、温泉水を活用したとらふぐの養殖に取り組んでいる。このとらふぐを活用した新たな体験事業として、とらふぐのストラップ作りをメニュー化するため、地元の指導者を養成する。 ①講師謝金、器具材料費、広告宣伝費	1,974	1,480	講習会は開催できたが、観光体験事業のメニュー化など今後の先行きに一部課題がある。 継続的な製作者・指導者の養成と、観光誘客につながる活動を期待したい。
32	南信州観光情報発信事業	南信州観光連携プロジェクト会議(飯田市)	信州DCを南信州への観光誘客の好機として、観光事業者等と連携して当地域のタイアップ記事を掲載することで、「南信州」の存在感を大きくし、全国的な知名度アップ、着地型観光の推進及び誘客促進を図る。 ①タイアップ記事制作	1,685	1,347	外部の専門家の視点も取り入れ、戦略的に記事を製作し、全国で冊子(180,000部)が販売された。 南信州の観光情報がより強く発信されるよう、知名度向上と誘客促進への取組を期待したい。
33	中央アルプス(木曾山脈)縦走企画、烏帽子岳～越百山登山道整備	松川町	住民有志により、新たなルート開拓のための組織を立ち上げ、登山口へのトイレ設置、登山道整備を行い、多くの登山者に松川町に来てもらえるようにする。 ①刈払機、チェーンソー	462	363	活動に参画する住民有志が増え、登山道整備とともに組織体制づくりも進んだ。 登山による地域活性化とともに、山を守りつつ、楽しく安全な登山を楽しむことの啓蒙活動が広がることを期待したい。
34	直虎ゆかりの地発・再び訪れたくなるDC推進事業	高森町	高森町は2017年大河ドラマ「女城主・直虎」の主人公・直虎の許嫁・井伊直親が匿われたドラマゆかりの地であり、信州DCの一環として、観光振興(誘客・おもてなし)に取り組む。 ①リーフレット、ガイド研修用バス代、広告費、仮設トイレ等	2,672	2,137	啓発冊子や誘客パンフレットを作成し、地元観光ガイド等様々な地域住民が事業に参画し、想定以上の観光誘客に繋がった。 地域資源を活用して、持続的な観光振興が図られるよう今後の活動に期待したい。
35	道路観光資源化事業	阿南町	道路構造物である橋を観光資源として捉え、阿南町及び泰阜村が協働して2町村内の12か所の橋を撮影し、「橋カード」を作成する。 カードを全て集めた者に、地元特産品セット等を贈呈する仕組みを設けるほか、道路マップや観光施設・イベント情報等を載せたカードフォルダー付きパンフレットも作成することで、新たな観光資源の発掘とともに、交流人口の増加を図る。 ①橋カード、ポスター、パンフレット等	1,022	816	橋と観光を橋カードというツールを用いて結びつけ、インフラ観光という新しい視点により、観光拠点と協働しながら、地域内経済の活性化を図った。 平成30年度は近隣地域にも事業が波及し、今後の継続的な観光誘客効果が期待できる。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (単位：千円)		評価にあたっての意見
				総事業費	交付額	
36	都市と田舎をつなぐ！企業連携心のデトックス事業	売木村	都会の企業に勤める若者を村に招聘し、村を拠点に空き家改修を通じて売木村の地域おこしに協力してもらう事業を展開し、企業連携の拡大により、移住者の確保へ繋げる。 ①講師謝金、参加者送迎、農機具等レンタル費 ②空き家改修	1,213	915	都会の若者を村に招き、活動拠点の整備と農業体験に取り組んだ。改修した空き家の活用とともに、この取り組みが継続され、若者移住や企業連携が促進されることを期待したい。
37	若者の、若者による、若者と地域の為に『I♡豊丘(あいらぶとよおか)』推進事業	豊丘村若者交流実行委員会(豊丘村)	若者ボランティアによる各種イベント(灯籠まつり、イルミネーション、フォトコンテスト)を実施することで、若者が地域で活躍できる場を創出し、郷土愛の醸成を図る。 ①イベント用消耗品、広告費、出演料等	1,401	1,050	若者ボランティアが中心となり各種イベントを実施し、イルミネーションに3900人が訪れる等盛況であった。若者と地域をつなぐ本事業を活用し、引き続き観光素材の磨き上げが図られることを期待したい。
38	原田芳雄プロジェクト2017	原田芳雄プロジェクト実行委員会(大鹿村)	平成28年度に実施した「原田芳雄プロジェクト」が文化的な恒例のイベントとするために、映画鑑賞や音楽イベントに加え、歌舞伎ワークショップやチケットクーポンによる地元消費喚起の取組等を行う。 ①映画上映費、出演者謝金、ポスター、チラシ等	772	576	台風の影響で音楽イベントは中止となったものの、延期して実施した映画上映会とワークショップは計画を上回る参加があった。より多くの地域住民のプロジェクトへの巻き込みが図られるよう、今後の取組に期待したい。
39	南信州版DC推進事業	南信州広域連合	信州DCで当地域の知名度を上げ、観光誘客の増加を図るため、14市町村連携してJR東日本・東海エリアにおいて、コミュニティFM等を活用した情報発信を図る。 ①イベント出演謝金、消耗品費等	1,030	823	中京地域のマスコミを中心に関係を構築するとともに、イベントも盛況であった。今後は構築した人脈を活かし、広域観光の推進に向けた情報発信の強化が図られることを期待したい。
40	下伊那北部5町村観光資源ブラッシュアップ及び観光関係者意識啓発事業	下伊那北部総合事務組合	リニア開通に向けた広域的な観光振興を推進するため、エクスカーションツアーや講演会等を通じて、観光資源のブラッシュアップと観光関係者の意識啓発を図る。 ①ツアー費用、講演会謝金、広告費	1,555	1,138	観光業者向けツアー等の開催による観光資源のPRとともに、講演会は意識啓発に寄与した。観光関係者から得た意見などを参考に、北部町村が連携し観光誘客を推進していただくことを期待したい。
41	天竜川シードルバレー・ブランドンディング事業	NPO法人国際りんご・シードル振興会(飯田市)	地域の主要特産品のシードルを新たな地域ブランドに育て、地域経済の向上・発展を目指すため、「ナガノシードルコレクションIN飯田」やセミナー等を開催する。実施にあたっては、県内他地域の生産者・醸造事業者も広く参加を募り、飲食業者・観光事業者等を広く巻き込むことで、関係団体が一体となって県産シードル産業の振興と地域経済の活性化を図る。 ①会場費、広告費、講師謝金等	2,778	1,717	シードルコレクション等の各イベントには県内外から多くの参加があった。(来場者325名)“シードル振興は飯田から”というメッセージを全県に伝えることができた。シードルウィークでは飲食等関係者とのコラボにより、若者から中高年齢層まで幅広い人々にシードルの良さを訴えることにつながった。この取組を契機に、管内のシードル関係団体相互の意見交換の場が初めて開かれるとともに、南信州全体でシードルを振興していこうという機運が高まった。
42	地域ブランド「南信州果実酒バレー」の発信	松川町	首都圏でのシードルの普及とともに、南信州における知名度向上を図るため、コンペティションや講演会、各種PR活動を実施する。 ①講師謝金、パンフレット、広告費、消耗品等	2,376	1,607	イベント内容が一部変更となったものの、セミナー、講演会等を通じて、農業者を中心とした新たなシードル振興に資する事業となった。更なる高付加価値化、普及浸透に繋がるよう、継続的な取組を期待したい。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (単位：千円)		評価にあたっての意見
				総事業費	交付額	
43	市田柿の魅力を高森から全国へつなぎ・つなげる発信プロジェクト	高森町	市田柿のブランド価値や知名度をより一層高めるとともに、小中学生により深く知ってもらうため、市田柿の成長・生産過程を映像化し、各種イベントや小中学校の地元学習で活用する。 ①映像制作、料理教室材料費	1,523	1,142	市田柿の成長・生産過程を記録した映像資料を作成し、観光イベントや小学校の教材等で活用した。PR映像の活用とともに、市田柿のブランド価値・知名度向上を一層高める取組に期待したい。
44	水田を守ろう！農業用薬剤散布事業	農事組合法人フクロウ(高森町)	高齢化や兼業農家の増加により農業離れが進んでいるが、マルチローターによる薬剤散布を導入し、農地の集約化を図るとともに、農作業の省力化の取組を他団体のモデルとして広める。 ②マルチローター	2,149	1,432	ドローンによる水田管理の実験を行った。耕作者の高齢化や耕作放棄等に対応するため、機材導入による成果と課題を洗い出し、他の地域への普及啓発活動に期待したい。
45	ジビエ商品販路拡大事業	根羽村猟友会(根羽村)	根羽村のジビエを一般消費者に向けて発信、展開していくため、オリジナルマークを作成し、商品の宣伝効果を高めるとともに根羽村ジビエのブランド化を図る。 ①ジビエシール	540	432	ジビエシールの制作に時間を要したことで、事業効果が十分に検証できないものの、シールの活用とともに、ジビエ商品のブランド強化・販路拡大等の取組について期待したい。
46	木の駅プロジェクトによる間伐材多角的活用推進事業	特定非営利活動法人 いいだ自然エネルギーネットワーク山法師(飯田市)	間伐材搬出活動を支援する木の駅プロジェクトを立ち上げ、拠点となる施設整備を進めてきたが、今後の受入拡大を図るため、集積場所の拡充や作業環境の整備を行う。 ①研修講師謝礼、生コン、水分計等 ②木材集積場所整備	888	681	木材集積場所の拡張や雨水排水工事により、さらに木の駅的环境整備が進んだ。整備した木の駅を拠点として、さらに6次産業化・販路拡大等に向けた取組が発展することを期待。
47	飯田水引リブランディング	飯田商工会議所(飯田市)	伝統の技を守りつつ様々な分野とのコラボレーションを図りながら新たな飯田水引を展開し、国内外における知名度向上を図るため、フランスの展示会参加や大学と連携したワークショップを開催する。 ①出展料、ポスター、通訳謝礼等	3,550	1,229	フランスの展示会への出展や県外でのワークショップ開催は、飯田水引の知名度向上に寄与。外国人旅行者が増加傾向の中、当地域の地場産業の振興に向けて積極的な取組を期待したい。
48	飯田焼肉を活用したブランド醸成、地域産業・観光の振興プロジェクト	IIDA WAVE(飯田市)	平成27・28年度実施した焼肉ロックフェスで「焼肉の街 飯田」を地域内外へ発信できた。平成29年度は自立収支の基盤を構築するため、多くの来場者が確保できる会場で開催し、今後の事業継続を図る。 ①アーティスト出演料、会場設営費、広告費等	12,481	2,375	(台風による事業中止のため、評価不能)
49	NESUC-IIDA(ネスクイダ)ブランディング戦略事業	公益財団法人南信州・飯田産業センター(飯田市)	地域の将来を担う若者や高度な技術者に当地域の技術を紹介し、当地域を訪れる人材を増やすため、ホームページを制作するとともに、会員や支援機関、高校生等を対象とした新製品等報告会を開催する。 ①ホームページ制作、ポスター、チラシ	4,233	3,386	ホームページの制作や企業PR研修会は、当地域の地場産業の振興に寄与する取組となった。地域共同受発注グループとして環境整備のさらなる推進とともに、幅広い世代に地域技術を情報発信する取組を期待したい。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (単位：千円)		評価にあたっての意見
				総事業費	交付額	
50	ぶなの嶺牧場 活性化事業	売木村	牧場に倉庫やヤギ小屋を建築することで、夏山冬里方式による放牧の規模拡大や新規参入を図る。 ①小屋用材料費 ②小屋建築	6,388	1,414	飼育農家や放牧頭数等の規模拡大には至らなかったものの、搾乳小屋・資材倉庫棟等の環境整備が進んだ。 村内の畜産農家と協働し、地域活性化に向けた継続的な取組を期待したい。
51	イベント列車 『三遠南信の歴史と美食、安らぎ、パワースポット体験列車』	JR飯田線 活性化期成同盟会 (飯田市)	利用者の減少が続く飯田線において、新たな利用者層を獲得するため、地元の方に『列車の旅の楽しみ』を発信し、飯田線の観光利用を推進する。 ①イベント列車運行経費、広告宣伝費	1,026	577	イベントの参加者数や、地域住民の関わりについて課題が残った。 JR飯田線の活性化のため、ツアーや駅周辺観光素材との組み合わせなど、継続的な誘客促進の取組を期待したい。
52	U・Iターン者移住促進事業	阿南町	町内の若者の流出が進む中、町が主体となってU・Iターン者を呼び込むため、移住セミナー等を開催する。 ①広告費、発表者謝礼、PR映像制作	741	592	移住者を巻き込んだPR動画を制作し、イベント等で放映することで、町への移住定住の取組について住民へ周知が図られた。 作成した動画の活用及び地域住民と協働した移住施策を展開し、人口増加に向けた継続的な取組を期待したい。
53	移住・定住促進 プロモーション 動画制作	阿智村	地域住民が村の暮らしや思いを語る動画チャンネルを立ち上げるとともに、プロモーション動画を制作することで、阿智村への移住・定住を促進する。 ①動画制作	5,000	960	移住者を巻き込んだ動画制作、動画チャンネルの立ち上げにより、移住・定住希望者へのアプローチや住民理解が促進された。 作成した動画等を活用し、引き続き情報発信と住民の受け入れ態勢構築への取組を期待したい。
54	「峰崎部屋夏合宿」で、国技の 伝承と地域の 元気を生み出す	平谷村観光協会(平谷村)	平谷村が気候を活かして誘致した相撲部屋の夏合宿において、子ども相撲等の力士との交流事業を実施することで、村の滞在型観光を推進する。 ①講師謝金、防虫ネット、消耗品 ②横断幕、のぼり旗	1,941	1,408	相撲部屋の夏合宿の誘致を観光振興に繋げる取組は、村の夏行事として浸透・定着しつつあり、各メディアからも注目される等、観光活性化につながっている。 滞在時間の増加に向けた他イベントとの連携等、今後のさらなる盛り上がりを期待したい。
55	うるぎ移住定住 ホップ・ステップ・ジャンプ	売木村	高齢化率45%を超える売木村で、移住者や村外協力者を増加させるため、村内体験イベントの開催(ホップ)、ボランティアによる岩倉キャンプ場整備(ステップ)、移住定住相談窓口ブースの設置(ジャンプ)に取り組む。 ①体験イベント開催経費、移住相談用消耗品等	1,028	360	村内体験イベントと移住相談会を組み合わせた事業を展開し、売木ファンの増加を目指した。 村外者との交流事業を発展させ、移住定住に繋がる継続的な取組を期待したい。
56	成婚リンクやす おか事業 拡充・拡大事業	泰阜村社会福祉協議会(泰阜村)	平成27年度から取組を開始した成婚リンクやすおか事業において、結婚相談活動を拡充・拡大させるため、他市町村と連携した移住結婚イベントやフォローアップセミナー等を開催する。 ①講師謝金、会場費、広告費等	2,379	1,783	人口減少対策や地域活性化等のため婚活事業に取り組み、マッチングや成婚等の一定の成果につながっている。 これまでの実証データを踏まえ、より効果的なイベントやサポート体制の充実を期待したい。



番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (単位：千円)		評価にあたっての意見
				総事業費	交付額	
57	「移住定住・就農」推進！ワクワク『豊丘村ワーキングホリデー』実施事業	豊丘村	豊丘村が「移住定住・就農」に適した村という事を発信するため、村が移住イベントへ参加し、「移住定住・就農」を希望する者に対して、就農体験等のワーキングホリデーを実施する。ワーキングホリデー実施にあたっては、移住・就農の成果に結び付くよう、希望者のニーズに沿った農家・体験メニューの提供とともに、移住に向けた各種サポートを展開する。 ①イベント参加費、イベント用消耗品、広告宣伝費等	2,976	1,205	田舎暮らしや定住定住に特化した就農体験を行った。(ワーキングホリデー参加者122名) 単なる農業体験に留まることなく、参加者に応じたサポートを一体的に展開することで、年間12名の移住・就農者を確保することができた。
58	南信州移住促進事業	南信州広域連合	広域的な連携のもと「南信州移住セミナー」等を開催し、UIターン希望者への多様な選択肢を提供する機会を創出し、移住定住の促進を図る。 ①体験者謝金、広告費、DVD制作、会場使用料等	4,746	3,495	「南信州暮らし」応援隊が中心となり、地域一体となった移住・定住に向けた取組を実施できた。 今後はセミナー内容の改善等の取組の進化を期待したい。
59	多世代交流型子どもカフェ事業	特定非営利活動法人 Hug (松川町)	不登校や学習のつまずきなど課題を抱えた子どもたちのために「子どもカフェ事業」を行っている。 活動場所に調理器具や食器がないため、スタッフが自宅から料理や食器を持ち寄り、また十分な机椅子もないため、町から借りて事業を行っている。 このため、事業に必要な備品一式を買い揃える。 ①食器、調理器具、机椅子等 ②冷蔵庫	817	565	食事提供や学習支援等には、年間延べ1,400人を超える利用があった。 子供が社会と関わる場に留まらず、親同士つながりの場が創出され、多くのボランティアが参画することとなった。
60	活き生きクライミング事業	松川町	廃校となった旧松川東小学校に地域住民と協力してスポーツクライミングのウォールを設置して、スポーツ振興と健康増進を図る。 また、地域のお祭りで体験会を開いたり、月2回のクライミング教室をとおして、過疎化が進む生東地区の交流人口増加、活性化を図る。 ②クライミングウォール	819	545	廃校となった小学校校舎にクライミングウォールを設置し、体験会や教室を開催することで、スポーツ振興・交流の場として浸透、定着しつつある。 交流人口増加や地域活性化に向けて継続的な取組を期待したい。
61	たかもりACEプロジェクト事業	高森町	高森町民が健康に関心を持ち、生活習慣病を予防していくため、健診、食育、運動を一体的に進めていく。 本年度は体組成計を導入し、町が健康診断、指導を行うほか、町民と協働で体脂肪率の改善度を競い合うイベントを企画開催し、各地区で健康集会を行うなど、町民と共に自主的な健康管理の機運を高めていく。 また、子育て支援施設に設置することで、20代～30代の若い母親、父親世代が、自分と子どものために健康管理することの大切さを学ぶ契機とする。 ①用紙代 ②体組成計	1,454	972	体組成計を活用し、商業施設や事業所と連携しながら、啓発活動、健康指導について広く住民にアプローチした。 健康増進の啓発に向けて継続的な取組を期待したい。
62	健康イチバン応援隊事業	キッチンおひさま(泰阜村)	村内の高齢者夫婦や独り住まいで調理に支障のある方に対し、泰阜村役場の福祉事業と連携して惣菜配食、料理教室を行い、村民が健康的な食生活を送れるよう支援する。併せて地域の見守り活動も行う。 現在、豆腐と惣菜を別々の場所で調理しているため、施設を改修して調理場所を統合することで効率化を図り、全村への配達、見守りができる体制を整える。 ①豆腐つくりイベント材料等 ②冷蔵庫、施設改修	1,598	1,082	弁当作り、レシピの作成、料理講習会等には多くの村民が参加し、健康意識啓発や高齢者の見守り体制構築に寄与。 今後も料理教室が定着し、村民の健康増進につながる取組を期待したい。
63	丸山地区の歌をつくろう！プロジェクト	丸山まちづくり委員会(飯田市)	風越山や今宮の花火など、地域の誇りを歌にすることで地区民の郷土愛醸成を図り、相互の絆を深める。 歌詞は地区民から意見を聞いて決定し、完成後は、まちづくり委員会の各種会議、文化祭や運動会等の行事で合唱するほか、公民館で放送したり、歌詞を題材にした学習会を行う。 ①録音・CD制作	432	324	多くの区民の協力により地区の歌を完成させ、地域の行事で合唱することができた。 作成した歌を有効活用し、地区の絆をより深めてもらうことを期待したい。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (単位：千円)		評価にあたっての意見
				総事業費	交付額	
64	SORE Program 一心の柔軟性を伸ばす子育てプログラム	感環自然村(飯田市)	子どもたちを敢えて困難な状況、不安な状況に置き、それに打ち負けない柔軟な心を育てる野外教育プログラムに取り組む。 ウッドデッキやハンモックを使って障がい児と健常児がチームを組んでいっしょに活動することで、他者と協力すること、繋がることを同時に学ばせる。野外教育とウッドデッキ建設は、地区住民と協力して行う。 ①大工指導料、ハンモック	1,880	1,410	野外プログラムは、当初予定の回数実施できなかった。 整備したウッドデッキ等を活用し、障がい児と健常児の交流の場として活動を発展させることを期待したい。
65	お囃子後継者育成事業	河野大宮神社獅子・お囃子保存会(豊丘村)	鎌倉時代から伝わる民俗芸能のお囃子を継承するため、地元小学校と協力して、後継者育成に取り組む。 これまで4年生以上を対象に行ってきた活動を、本年度から2年生以上を対象とし、範囲を広げて活動する。 月2回程の定期練習に加え、お祭りや行事の前には学校の始業前後や夜間にも練習を行い、その成果を地域で披露する。 ①太鼓、笛、法被	1,338	1,070	小学校と地域が協働してお囃子の指導体制の充実を図ることで、より多くの子どもたちが活動に加わった。 子どもたちの技術と意識の向上により、地域との交流拡大が期待できる。
66	地域で進めるモデル竹林整備事業	喬木村	交通安全、防犯、景観保全のため、村内の竹林のうち4箇所程度をモデル竹林として地区住民と協力して整備する。伐採した竹は破砕機でパウダーやチップに加工し、農地の土壌改良や竹の生育抑制に利用する。 また、無煙炭化器と防災イベントストーブを購入して地区に貸し出し、竹炭を作ったり、竹を薪として利用できることを知ってもらい、竹林整備と竹の有効活用について啓発していく。 ①チェンソー・破砕機の講師謝金等 ②無煙炭化器、防災イベントストーブ	678	521	村内で支障がある場所を、住民協働でモデル竹林として整備した。 購入した備品等の有効活用とともに、モデル事業として他地域に波及する取組となるよう、継続的な取組となることを期待したい。
67	円満坊環境整備事業	円満坊保存会(松川町)	桜の名所である桜塚円満坊一帯の環境を整備するため、自治会と協力して竹林・雑木を伐採する。また、年配者が安全に上れるように石段に手すりをつける。 ①竹チップ破砕、②手すり設置	540	386	円満坊一帯の整備を多くの地元住民と協働で行い、桜の名所としての景観や安全性が向上した。 竹林や雑木の手入れ等のため、保存会の体制強化を図るとともに、地域活性化のため継続的な取組を期待したい。
68	観光ガイド(ご案内人)への情報教育とそれに伴う観光案内所内の情報環境整備	天龍峡温泉観光協会(飯田市)	天龍峡大橋の架橋を控え、名勝天龍峡の復活に向けて、情報化と外国人対応に取り組む。 観光ガイド向けにタブレット、ブログ、英会話の講習会を行うとともに、観光案内所にタブレット、電子看板、無料wifiスポットを整備する。 また、ホームページを更新するとともに英語ページを作成する。さらに地元中学生に観光ガイドを体験してもらい、地域一体で観光客をもてなす機運を高めていく。 ①ホームページ、タブレット等 ②電子看板	1,148	852	備品の整備にとどまり、実際の活用に至らなかったため、事業の成果が不明。 整備した備品を有効活用するとともに、観光ガイドの養成や観光客受入れの意識醸成など、当初の目的が達成されることを期待したい。
69	遠山郷「サイクリスト受け入れ」環境整備事業	飯田商工会議所遠山郷支部(飯田市)	「道の駅遠山郷」を拠点に「しらびそ高原」に上る自転車周遊コースのマップを作成し、遠山郷各地区に自転車スタンドを設置して、サイクリストの受け入れ環境を整える。 また、地元自転車競技チームの選手と一緒に走るサイクリングイベント開催する。 ①謝金、マップ、スタンド	1,404	1,053	サイクリスト受け入れのための環境整備が進み、イベントも好評を得た。 作成したマップの有効活用や、イベントの継続開催により、遠山郷への誘客促進を期待したい。
70	若者による地域活性化事業	with HIRAYA(平谷村)	平谷村の観光客増加と、地元若者の郷土愛醸成を目的に、若者中心に音楽イベントを企画、開催する。ステージは建設会社の指導を受けながら若者たちが製作し、次年度以降のイベントでも使用する。 ①出演料、施設使用料、音響設置料等 ②ステージ製作費	2,255	1,607	若者が主体となり、音楽イベントを開催した。 平谷村のイベントとして浸透し、観光客増加や近隣地域との交流のきっかけに繋がるよう継続的な取組を期待したい。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (単位：千円)		評価にあたっての意見
				総事業費	交付額	
71	売木村サポーター登録制度による村づくり「うる里サポート制度」	売木村	人口減少が進むなか、村外の売木ファンが恒常的に地域活動に関われるようサポーター制度を作る。サポーター候補は村内イベントやボランティアのリピーター、移住検討者等で、マンパワーが必要な時に連絡し、サポートしてもらう。サポーターには認定カードや情報誌を送るなどの特典を付ける。本年度は村民とサポーターが協力して、今後の観光イベントの拠点となる岩倉キャンプ場の改修に取り組む。専門業者の力も借りつつ、できる限り自分たちの力で取り組む。 ①認定カード、情報誌、ピザ窯、トイレ壁木材等 ②トイレ改修	3,443	2,370	サポーター登録者数は計画に満たなかったものの、村外サポーターと協働してキャンプ場の再生に取り組んだ。地域の活性化、関係人口の増加に向けて、効果的に制度が機能するよう継続的な取組を期待したい。
72	熊伏山に登ろう！	天龍村	信州百名山に選ばれた天龍村の熊伏山の登山道を整備し、秋の登山シーズン前に2回、村民有志で清掃活動を行う。観光協会と協働して清掃し、登山道や紅葉の様子をホームページを使ってPRする。 また、村民だけで登る機会を別に設け、村民同士の交流と健康増進を図る。この取り組みを次年度以降も継続していく。 ②路面整備、安全柵設置	1,512	1,008	登山道を整備し、住民を巻き込んで環境整備や登山イベントを行い、住民の環境保全意識等が醸成された。地域の賑わいや村民の健康増進に繋がるよう、継続的な取組を期待したい。
73	都市との交流による南信州活性化事業	南信州広域連合	地域の基盤として持続可能な農業(農業者の所得向上、新規就農者の促進)を実現するとともに、交流人口を増やして、都市企業のダーチャ(菜園付き別荘)呼び込み、地域の遊休農地、空き家等の活用につなげていく。 本年度は首都圏及び中京圏の企業を招待して南信州を体験してもらい、マーケティング会社の指導を受けて南信州14市町村職員がプレゼンを行う。マーケティング会社と企業から栽培品種や販路拡大についてアドバイスをもらうほか、企業とはパートナーシップを構築してダーチャ誘致につなげる。 ①招待企業旅費、企画支援業務委託料等	3,242	2,593	イタリア野菜を通じて都市圏の起業へ地域資源を売り込み、関係構築に繋がった。企業との今協力関係を持続させ、地域資源の活用や農業振興に寄与する今後の取組を期待したい。
74	薪を通じた多世代に渡る主体的な未利用材の木質バイオマス利用の推進事業	特定非営利活動法人森の民ねばりん(根羽村)	森林未利用材の有効活用を進めるため、従前より短い未利用材が入るメッシュパレット(カゴ)を導入し、山から搬出する。また、気軽な薪利用の仕方を学んでもらうため、林業に縁のない住民や都市生活者を対象に、ロケットストーブ講習会を開催する。 ①メッシュパレット、講習会の開催	1,412	1,070	地域の特性を生かした事業であり、講習会やイベントを通じて未利用材の新たな資源循環の仕組みづくりにつながった。参加メンバーの増加を図り、周辺地域のモデル的な事業となるよう、継続的な取組を期待したい。
75	地域の活動を発信し、仲間の活動がより活性化していく事業	笑ったり寄ったり(飯田市)	長野原地区の紹介、地区の仲間たちの活動、そして自分たちが作る加工品に対する思いやこだわりを伝えるため、ホームページを作って発信する。 また、長野原地区が横浜反町と交流しているため、地区の仲間と反町に出かけ、初の竹灯籠イベントを行う。 ①ホームページ制作、イベント参加	502	392	横浜反町での竹灯籠イベント等により、地域をPRできた。作成したホームページを活用しつつ積極的な情報発信を行い、シニア世代による地域活性化の取組や、特産品の販売促進、交流人口増加等、多方面への効果を期待したい。
76	就労継続支援B型事業所「こもれび」(高森町)の障がい者雇用促進事業	株式会社「こもれび」(高森町)	障がい者の工賃アップを目指して、秦阜村や大鹿村など地元食肉加工所から鹿肉等を仕入れ、ペットフード用のジャーキー製造に取り組む。また、地域の農家から野菜を仕入れて、ペットフード用の野菜ふりかけ製造にも取り組む。 ②加工用乾燥機他	2,818	1,864	食肉乾燥機材導入により、獣害対策としての鹿肉の活用と、障がい者雇用と工賃アップに寄与。障がい者の雇用環境向上と製造販売拡大へ向けた取り組みに期待したい。
77	高森町の農・商・工・観連携の観光客を呼べるメニューと商品開発事業	高森町商工会(高森町)	市田柿を中心に高森町らしい特産品(加工食品)を開発し、町の活性化を図る。外部専門家と町内協力者で委員会を立ち上げ、開発したメニューのレシピを商工会員の食品会社や菓子会社に公開することで、町全体に取り組みを広げていく。 ①専門家謝金、外注加工費	523	392	商工会が町民と協働で、高森町らしい新たな特産品メニューの開発に取り組んだ。開発したメニューを活用し、産業振興や観光誘客に繋がるよう継続的な取組を期待したい。

番号	事業名	申請者	事業内容	事業費 (単位：千円)		評価にあたっての意見
				総事業費	交付額	
78	駒場線のラッピングをとおし、まちづくりへと連携する事業	阿智村	路線バス駒場線存続のため、阿智高等学校生徒と協力してバスラッピングを行う。デザインした車両を運行し続けることで、地域に密着した公共交通を目指す。 車両完成時には、子どもを対象にしたバスの乗り方教室や、利用促進、定住促進に向けての検討会を行う。 ②バスラッピング	1,091	818	高校生との協働で完成したデザインは好評であり、事業終了後に内装もラッピングされるなど、駒場線の啓蒙や親近感の向上に寄与。 利用者の増につながるよう、より地域に密着した公共交通体系を目指していただきたい。
79	移住定住促進！下條村お試し住宅整備事業	下條村	下條村への移住、定住、UIターン者の増加を目指し、村が空き家を購入して「お試し住宅」として整備する。 地域の有志ボランティアが家財撤去等の片付けを行うほか、体験者に対しては、役場とボランティアが協力して村の総合案内をしたり、行事への参加を促すなど、下條村を最大限理解してもらえるサポートをしていく。 ②空き家改修	3,352	2,514	住宅整備が遅れ、お試し住宅の利用者は目標に届かなかったものの、翌年度には予約が相次ぐなど、移住への足掛かりとなっている。 整備した住宅のPR等、移住促進に向けた継続的な取組を期待したい。
80	「お試し住宅」設置事業	豊丘村	豊丘村への「移住定住・就農」を促進するため、村が空き家を改修して、就農希望者のための「お試し住宅」の整備に取り組む。 市田柿など特産物の多忙期に合わせた体験が可能になることで、就農希望者にとっては、より具体的な意識付けが可能になる。 改修時の清掃、就農希望者に対してのサポートなどは、地域住民が協力して事業を進めていく。 ②空き家改修	4,201	3,029	施設整備に時間を要し、年度内の受入が出来なかったものの、他の就農・移住施策との連携を図る等、整備したお試し住宅が移住促進の足掛かりとなるよう期待したい。